

NEWS LETTER



NO.9 2002.1.1

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本（甲山国際文科学館内）
〒658-0003 神戸市東灘区本山北町 3-2-10
Tel:078-453-5941

初 心忘るべからず一言い古された言葉ですが、年の初めに、今一度この言葉を噛みしめてみたいと思います。日本語学習をとおして、お互いの違いを知り、学び、尊重しあえる一そんな『共育・共生』の場をめざして、「にほんごひろば岡本」は活動を始めました。支援者の皆さんの理解と協力を得て、日常の学習支援以外にワークショップやニューズレターの発行、季節ごとの交流会など、これまでおおむね順調に歩んでくることが出来ました。昨年末のクリスマス会の賑わいは、私たちのグループの雰囲気は何よりも雄弁に語ってくれているように思えます。メンバーのほか学習者の家族や友人、支援者の知人や遠くから駆けつけてくれた卒業生など「にほんごひろば岡本」に集った人々の明るい笑顔。あの日、私たちは参加者の皆さんから明日への元気とやる気を与えてもらいました。

もちろん、今後の課題も数多く残されています。当初想定した東灘区周辺の日系南米人の学習者が少なく、また継続が困難だという点です。学習曜日・時間帯・学習形態そして支援者の意識など、改めて考えなければならない時期にきていると言えるでしょう。これに対するひとつの試みとして兵庫日本語ボランティアネットワークで取り組む「東灘地域に住む日系南米人の為の日本語教室」への支援者派遣を考えています。学習者の実態に合わせて、融通性のある支援活動を模索していきたいと思います。皆さんのご意見を伺いながら、地域の日本語教室だからこそできる学習支援を“気負わず、気長に、楽しく”をモットーに続けていしましょう！今年もどうぞよろしくお願い致します。



● CONTENTS ●

【特集】 2001 年後期フォトレポート（BBQ パーティー・クリスマス会ほか）…4

【連載】 学習者・支援者の紹介…2

【学習者のひろば】 モニカ 初めての温泉レポート…7

さよなら元気だね ユワンダ東京へ…8

学習者・支援者紹介

◆趙 倩景さん (女性) 中国出身 勉強熱心な兼業主婦です！

私と趙 倩景さんが初めて会ったのは、昨年の4月のこと。その年の1月(もうすぐ1年です!)に日本に来たばかりだった彼女は、心配そうな、不安そうな顔でご主人と一緒に「にほんごひろば岡本」にやって来ました。月日が経つのは早いもので、あれから10カ月が過ぎようとしています。

趙さんはとても勉強熱心で、仕事と家事で忙しいはずなのに、その合間に教科書を開いて、毎回予習をしてきてくれます。新しい文型が出てくると、その文型を使っておしゃべりをしてくれます。そして、仕事場(三宮の料理店)などの会話の中で疑問が生まれてくると、月曜日の「ひろば」にそれを持って来て、私を悩ませてくれます。私も毎回、趙さんからいろんなことを学んでいると思います。



そうそう、昨年のクリスマスには、クリスマスプレゼントをもらいました。周りの人たちに対して、そんな気配りのできる心の優しい趙さんは仕事場でもきっと人気者なんだろうな、と思っています。だって、仕事は本当に忙しそうだけど、仕事仲間の話を楽しそうにしてくれますから。

趙さんは、普段、兼業主婦として頑張っていますが、それだけではなく、なんと彼女は一児の母でもあります。まだ彼女は若いので、「子供がいる」と聞いた時には本当に驚きました。一度、写真を見せて

もらったのですが本当にかわいい女の子です。娘さんは中国で暮らしているので、寂しいと思いますが、子どもの話をしている時の趙さんの瞳はキラキラ輝いています。「母親」の顔をみせる時の趙さんは「強い女性」という感じがします。

まだまだ未熟な私ですが、趙さんの日本での生活に少しでも役立てたら……と日々、勉強中です。こんな私ですが、今年もよろしく、趙さん。一緒に頑張らしましょう。(河崎涼子)

.....

◆河崎涼子さん

人見知りが克服できました

みなさん、明けましておめでとうございます。神戸松蔭女子学院大学3回生の河崎涼子です。1回生の11月からこの「にほんごひろば岡本」にお世話になっています。2002年を迎え、ひろばでの3回目の新しい年の幕開けです。

私が「ひろば」で学習支援をするようになったのは、2回生の秋のこと。かわいい妹のような黄奕尔ちゃんと勉強をしていました。やることのすべてが私にとっての勉強で、毎回毎回、手探りで進めていました。奕尔ちゃんが「ひろば」を卒業した昨年の3月までの半年間、一緒に勉強しました。そして、3回生になった4月から前に紹介しています趙さんと勉強をはじめ、現在に至ります。

私は人見知りをするタイプなので、初顔合わせの時はとても緊張しました。でも、それは最初だけで、いまでは、毎回楽しくやっています。もちろん(?)今でもやることのすべてが勉強なのですが、前のようにただ突き進んでいくだけではなく、その勉強が楽しくなってきました。もっといろいろなものを吸収して自分を成長させたいと思っています。みなさん、こんな私にいろいろと教えてください。今年もよろしくお願いします。

PS: 昨年のBBQパーティーのバレーボールや縄とびで「元気な子」というイメージができあがったそうなので、今年も元気で頑張ります。

◆ワルテルさん (男性) ペルー出身 シャイでパワフルな南米青年！

彼は去年の春日本に来た、尼崎の会社で働く 26 歳のペルー人です。現在、彼のお兄さん夫婦と一緒に暮らしています。このお姉さんが、日系人なので、日本語を耳にする機会は多少あったみたいです。

私と彼とは、まだ去年 1 回しか勉強していないのですが、勉強が終わってから西村さんが「初めて来たときよりもすごく日本語がわかるようになってるわ」と言われたので、彼も意識しはじめたのかなと



思いました。

まだ、会話ができるという状況ではないので、一緒に絵を描きながら四苦八苦して生活や仕事のことを聞いていました。ペルーでは靴を作っていて、今は塗装関係の仕事をしているので結構手先が器用なんだと思い、うらやましい限りです。

勉強中、私が何回か少し席をはずして戻るとドアのむこうから何か話し声が聞こえてきました。「電話をしているのかな？」と思って入ってみると、紙に書いていることをリピートしていて、すごく一生懸命さが伝わってきました。私の前では、恥ずかしかったみたいです。途中でお兄さんがワルテルさんを心配して教室に来たのですが、このお兄さんがとても陽気で日本語も話せるので、彼の心強い見方なんだなと思いました。

お兄さんに比べるととてもシャイなワルテルさんですが、持ち前のパワフルさとやる気で、今は初級の初級ですが、これからどれだけ上達するかとても楽しみです。

仕事が終わってから自転車で通ってくる彼……これからの寒い時期を何とかのりきって欲しいと思っています。

一緒に頑張りましょうね。

(中禮かおり)



◆中禮かおりさん

学習者の「わかるわかる」に励まされて

実は私は「にほんごひろば」には立ち上げの時からお世話になっている古株です。

去年の春から社会人になったのですが、松蔭にいる時、ゼミの時間に下田先生から紹介されたのがきっかけで今に至っています。この「にほんごひろば岡本」の一番の印象は“アットホームな空間”です！だからそんなに経験のない不安で戸惑いのあった私でもやってこれたのかなと感じています。

経験豊富な方のお話や何気ないアドバイスに導かれて……そして教えていて何よりうれしいのが学習者の「わかる、わかる」という言葉！！まだまだ私も勉強中で、教えていても新しい発見があり楽しんでいます。

南米出身の学習者と勉強することが多く、いつかは「南米に行って日本語を……」と野望を抱きつつ働いている毎日です。

学生の時は週に何回かひろばに通っていましたが、いろいろなイベントに参加できていたので同期の人以外に支援者や学習者ともたくさんお話をする機会があったのですが、今は仕事の都合上、土曜・日曜は出勤で参加できず、西村さんからの報告や写真、この NEWSLETTER をたのしみにしているばかりです。

皆さんとお会いする機会はあまりないかもしれませんが、これからも「ひろば」にお世話になりますので、よろしくお願いします。

2001年後期フォトレポート

●BBQ パーティー (2001.10.21 芦屋奥池遊びの広場)

当日はあいにくの雨で、展望台からの眺めはいまひとつでした。でも、遊びの広場に着いたら、誰の行いがいいのか、雨は止みました。時節柄、牛肉なしの BBQ でしたが、みんな、パクパクたいらげました。



上手に火も熾せて、美女に囲まれ、ご満悦の橋本ご主人です。

風船割競争は学習者が断然強くて、優勝者はユワンダさん。巨大縄跳びは何故か昔の若者ばかり。



美味しいワインや美味しい食事、それに何より、美味しい空気を吸って、心も体も美味しい一日でした。

今年の秋もどこかで、また、美味しい一日を過ごしましょう。

●第6回日本語教育ワークショップ (2001.10.27)

交流会ではみんなで不安や喜びを出し
合って、意義ある時間でした。
かなり、ストレス解消できましたよ。



第6回日本語教育ワークショップが下田美津子先生の指導で行われました。

テーマは多くの支援者を悩ませる条件表現「と・たら・ば・なら」です。母語話者が普段どのように使い分けているかをチェックしながら、それぞれの特徴を分析・整理した後、学習者が混乱しないような提出順序を考えていきました。参加者の頭はかなりすっきりした様子。

休憩後の交流会では、それぞれが抱える支援上の悩みや不安や喜びなど、ざっくばらんに出し合いました。日本語教育のスキルよりもこのような話し合いを大切にしていきたいという先生の提案に沿った交流会となり、時の経つのを忘れた3時間半でした。

●ひろばの学習者特別参加 (2001.12.1)

12月1日(土)第2回兵庫日本語ボランティアネットワーク研修会に「にほんごひろば岡本」の学習者6名が特別参加し、「みんなの日本語」著者である田中よね先生の模擬授業のモデルを超える参加者に圧学習者を務めました。100名倒されたのか、かなり緊張しながらも堂々自己紹介。



緊張してとても疲れました。
モデルってたいへん！

17課「～ないでください」文型の練習では日頃の学習成果をばっちり披露しました。「2～3日お風呂に入らないでください」と答える際、「一緒に」の指示につられ「2～3日一緒にお風呂に入らないでください」という名答に思わず拍手！緊張が一気にほぐれました。

また神戸新聞記者のインタビューも受けるなどして大活躍の6人でした。

写真左から；ユワンダさん、パーシヴァルさん、ジナさん、唐さん、林さん、モニカさんです。

●クリスマス会（2001.12.23）

21 世紀最初のクリスマス会は、学習者・支援者それぞれの家族・友人合わせて 67 名が参加し、とても賑やかで和やかな雰囲気になりました。食べ物・飲み物はもとよりミニコンサートあり、壮烈な椅子取りゲームあり、破格の値段のバザーあり、そして子供たちも挑戦した日本式独楽回しありと、3 時間半をたっぷり楽しみました。



美女 4 人、今は食い気のみですか？



男の子はみんな独楽回しに夢中です。



椅子取りゲームは圧倒的に女性群が強かったです。

クリスマス会 ♪ミニコンサート♪

今回のメインイベントは何といても、このミニコンサートでした。ボランティアで出演してくださったソプラノの庄島道子先生とお箏の奥田さとみ先生のすばらしい演奏に参加者全員うっとりと聞き入っていました。コンサートの最後には、参加者全員が庄島先生の指導で「お正月」を合唱しました。



庄島先生の衣裳は着物地を使って仕立てられた美しい紫のドレスです。和服姿の奥田先生はお箏をご持参いただき、大変お手数をおかけしました。

学習者のひろば

★初めての温泉 ～おっかなびっくり！でも気持ちよかった～

吉岡モニカ（メキシコ出身・日本語学習歴 10 カ月）

先週の月曜日、ありまおんせんに行きました。芦屋駅で 9 時 45 分にきっぷうりばのまえで、パーシヴァルさん、ジナさん、松見さんに会いました。ユワンダさんは、まにあわなかった。かわいそうでした。9 時 50 分まで彼女をまったけど、彼女は来なかった。それから、市川さんのうちまでバスで行って、25 分ぐらいかかりました。

市川さんは私たちをバスのりばまでむかえに来てくれました。彼女のうちは大きくてステキないえです。そこで、にくじゃがとさけごはんのつくりかたを、おしえてくれました。いろいろなおしゃべりをして、とてもたのしかった。

2 時 30 分ぐらいに市川さんが「そろそろおんせんに行く？」と言いました。

おんせんに入るまえ、みんな「モニカ、おんせんはじめてですか？」と聞きました。



写真の右端の黒一点のパーシヴァル
さんの感想も是非、聞きたいですね。

おんせんでみんなふくをぬぐと言いました。
「え！！」私はびっくりしました。いまから はず
かしくて どうしようと思いました。私はドキドキ
しました。おんせんでみんなはふくをぬいだけど、
私は5分もぬげませんでした。そこにいるおばあち

ゃんに「はやくぬぎなさい」とおこられました。ぬぐ所を早く出てすぐおふろにはしりました。
私はさいしょシャワーをあびたかった。でも、シャワーのつかいかたをしらなかった。それで市
川さんからおしえてもらいました。つかっている間になれました。おふろに入ってとてもいいき
もちでした。とてもたのしかったです。もうぜんぜんはずかしくなかった。あとで2分ぐらいサ
ウナに入って、もういちどおふろに入って、あつくなったので出ました。とてもたのしかったです。

★さようなら、元気でね ～ユワンダ東京へ～

松見和代

タイ王国から厚底ミュールを履いて、日本に嫁いできたユワンダ。本当にちっちゃくて可愛く、我が家の高校生の息子の同級生より幼く見えます。

昨年春、このひろばに来た頃は、消え入るような声で、「友だちがいなくて寂しい」と訴えていました。そんな彼女も5カ月たった今では、友だちと日本語で話をし、神戸の生活を楽しんでいるように見えます。

ところが、ご主人梅村さんの突然の転勤で、ユワンダは1月13日東京に引っ越すことになりました。誰ひとり知り合いのいない東京で、彼女がまた孤独にならないか、あんな大きな町でうまくやっていけるかどうかなどと、私は心配でたまりません。しかし、彼女は「とうきょうは、にぎやかなまちです。タイじんのおみせがたくさんあります。わたしはそこではたらきます」とずいぶん前向きです。南国タイでのんびり育ったせいか、ホァ～とした天真爛漫な性格のせいでしょうか。そんな彼女のことが大好きな私は、“娘を嫁に出す母親”のような心境で彼女の様子を見に東京へ行かねばと、今からあれこれ考えています。
(写真はBBQパーティーの風船割競争でみごと優勝した時のものです)



ユワンダ、岡本の
母はいつでも、東
京に行きますか
ら、頑張ってね。

【編集後記】 2002年最初のNEWS LETTER楽しんでいただけましたか？イベントばかりしている「ひろば」ではございませんので、次号はすこしアカデミックな部分もお見せしようと今から「ひとり編集会議」をおぜんざい食べながらしています。あっ！携帯が呼んでいます。Sさんから「まじめにやりなさい」かな？(M・I)